

IPW緩和ケアコース 多職種協働事例検討研修

北信がんプロ科目-単位申請対象セミナー

日時 2024.9.21 (土) 13:00-16:00

5.11(済)/7.13(済)/11.9/1.11/3.8 (全6回)

申込 申し込み締切り：9月14日 (土)

長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードからお申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、**第何回を受講されるかを記入**してください。(例：全回希望、第3回希望など)



第3回

9.21 (土) 『BSC期の治療要求』

事例 Aさん(52歳女性)は卵巣がん・腹膜播種で3年前から治療を受けている。主治医は30歳代の女性医師であるが、Aさんは治療方針の説明時には「上級医師から話を聞きたい」と要望し、また看護師長に「看護師はみんなやり方がバラバラで…」と苦情を寄せていた。BSC期でのEOLd(終末期の話しあい)時に、夫は「この人を今助けなければいけないんだ」と繰り返すばかりであった。

講師 がん研有明病院 精神腫瘍科医 清水研氏



第1回 5.11 (土) ケミカルコーピング

事例 痛みの訴えと易度性が高くなっている。これは医療用麻薬の依存症？

第2回 7.13 (土) 倫理ジレンマ

事例 認知症高齢者への積極的
化学療法。家族の要望ではあるけれど…

会場 オンライン (ZOOM)

対象 医師・看護師・MSW・薬剤師など

第4回 11.9 (土) 倫理ジレンマ

事例 AYA患者の治療拒否
家族は治療希望で医療者間でも意見が分かれて…

第5回 1.11 (土) コンフリクト

事例 BSC(死)が直視できず
終末期の過ごし方の話ができない

第6回 3.8 (土) 多問題家族

事例 一人親家庭の親が終末期
となった。子どもには、病気の話をしていないくて…